香川県未来投資応援総合補助金を活用して（さぬき市商工会）

OEM依存からの脱却へ　自社ブランドバッグを24時間販売する新たな販路を開拓

会社説明

昭和35年に手袋製造業として創業し、昭和44年からはカバン等のＯＥＭ製造へ転換。長年培った高い縫製技術を強みに、自社ブランド「雅」のバッグ開発・販売にも取り組んでいます。令和6年には「ｓｅｔｏｕｃｈｉ　ｔｅｘｔｉｌｅ　ａｒｔ　ｍｉｙａｂｉ」の商標を登録し、生地端材や残反を活用したサステナブル商品や、「瀬戸内ＭＡＤＥ」を打ち出した商品の開発にも取り組んでいます。

事業課題

ＯＥＭ事業が売上の99％を占める一方、コロナ禍以降の受注減少や加工単価の低下、原材料・物流費の高騰により、利益率の低下が課題となっていました。そこで、ＯＥＭ依存からの脱却と収益力向上に向け、自社ブランド商品の販売比率を高める新たなＢｔｏＣ販路の開拓を目指しました。



香川県未来投資応援総合補助金の活用

「香川県未来投資応援総合補助金」を活用し、自社ブランドバッグ販売用の自動販売機を導入。国道11号線沿いでドライバーや観光客の休憩スポットとして親しまれる大川オアシスに設置し、24時間・無人で販売できる新たな小売チャネルを構築しました。自販機には瀬戸内の海をイメージしたラッピングとＳＮＳ・ＥＣサイトへ誘導するＱＲコードを施しています。





今後の展開

香川県未来投資応援補助金を活用してショールームを整備し、9月にリニューアルオープンを予定しています。自社ブランド「雅」のバッグやセミオーダー・フルオーダー商品の直接販売を強化し、ＳＮＳによる情報発信を通じてＥＣ販売やリピーターの獲得にもつなげます。ＯＥＭとＢｔｏＣの両輪で自社商品の販売比率と収益力の向上を目指します。さらに、高松空港の催事販売「さぬき銘品店」への出品や、11月に開催される「ニッポン全国物産展」への出店を予定しており、県内外での販路拡大と自社ブランドの認知度向上を図ります。













さぬき市商工会
経営指導員　生駒　高敏

「ＯＥＭ依存による利益率低下」という経営課題を整理し、自社ブランド商品の販売強化を提案しました。松下社長は、東かがわ市の自動車販売会社での営業経験を経て異業種の事業を承継。手探りながらも事業を継続し、新商品の開発や展示会への出展など、積極的に販路開拓へ挑戦してきました。そうした挑戦を後押しするため、「瀬戸内」を打ち出す商品の地域性と大川オアシスを訪れる観光客等との親和性に着目し、今回の自動販売機の設置と補助金の活用支援の実施に至りました。

店舗情報

株式会社高嶋三宝

住　　所　さぬき市大川町富田東2-1
営業時間　8:00～17:00
定 休 日　土曜日、日曜日、祝祭日
電　　話　0879-43-3585
ホームページ　http://www.takashimamiho.co.jp/　　https://www.instagram.com/miyabi.j515/